

編集後記

何といっても今年の夏は、現在進行形で暑い。熱中症で倒れた人、亡くなられた人の数が過去最高になる見込みである。熱中症が炎天下でかかるものと誤解していた人も多かったのではなかろうか。植生の配置も変わってきているような便りも聞く。そのうち日本も亜熱帯気候にでもなるのだろうか。温室効果ガスの排出は経済成長のバロメーターであっても、金融危機で疲弊後の日本経済には、負の効果の方がはるかに大きい。

さて、『国際経営フォーラム』21号を皆様の元にお届けできる運びとなった。今回の特集テーマは、「グローバル社会との接点－環境・企業・価値の複合化－」である。まさに複雑化する現代社会において、ピッタリのフレーズであろう。企業価値の向上は環境対策如何であるという、安直な言葉の接合になってしまうが、環境、企業、価値という言葉それぞれが、以前にも増して重要となっていており、グローバル化する現代社会においては、有機的な結合を図ってこそ、将来の展望が拓けるのではなかろうか。

(編集委員長：菅野正泰)